

令和3年度 第2学期始業式 式辞

残暑の厳しい日々が続いていますが、そんな中、朝晩や日中に時より吹く一陣の風や、空に浮かぶ雲が秋を知らせるものであることに気付かされる8月の後半、いよいよ夏休みが終了し、今日から2学期を迎えます。飯沼中学校の生徒諸君にとって、今年の夏休みはどんな夏休みだったでしょうか。暑い夏休み、雨の多かった夏休み、外出に気を遣う夏休み、部活の活動が制限された夏休み、そして3年生にとっては、卒業後の自分の進路を考え、目標に向けて精一杯の努力をした夏休みであったことと思います。そんな今年の夏休みには、1964年から57年ぶりとなる東京オリンピック・パラリンピックが開催され、多くの感動をもらった人も多かったことと思います。また、本校陸上競技部3年生の石塚怜王さんは、陸上の県大会で、共通男子110mハードルで全国大会への出場権を勝ち取り、8月19日、茨城県にて行われた全国大会に出場しました。おめでとうございます。また、どの部の生徒達も校庭や体育館、そして校舎内でそれぞれの活動を活発に行っているのを日々見させていただきました。加えて大小様々な大会やコンクールなどにも積極的に参加していましたね。この夏、諸君が勉強や部活動に汗を流したことは、人生の中で確かな足跡となることと確信しています。

さて、今日から2学期が始まります。2学期の始業式にあたり、校長からみなさんへ、2つ話をします。1つ目として、2学期はみなさん知ってのとおり、一番長い学期です。これから気候も涼しくなり、過ごしやすくなります。そこでみなさんには、2学期の過ごし方として、様々な事をじっくりとよく考えて、腰を落ち着けて1日1日を、1つ1つの活動を大切に取り組んでもらいたいと思います。時の流れに身を任せて、時間の無駄遣いをしているほど、君達の青春時代は長くはありません。悩んだとき、困ったときには、遠慮することなく、仲間や先生に助けやアドバイスを求めてよいのですから、時間を無駄にしないという意味でも一人で抱え込んで悩んだりしないようにしましょう。2学期は、志を高く持ち、勉学に励み、知識や教養という根っこを広く、深く張ることが大切です。がんばって生活をしている者かどうかは、元気の良い挨拶や正々堂々とした態度に表れます。飯沼中学校の生徒諸君にとって、今日から始まる2学期が充実したものになることを願ってやみません。健康に気をつけ、元気いっぱい明るく過ごすとともに、中学生としてよく考えて毎日を過ごすことを忘れないでください。

2つ目です。諸君も毎日テレビや新聞、ネットのニュースなどを観て知っていることと

思います、新型コロナウイルスに関わることです。埼玉県を含め、多くの都道府県で緊急事態宣言が発令され、日々最悪の数値を更新しています。昨年度のウイルスから変異し、より強力になったウイルスが複数出現しています。短時間の接触やワクチン接種をした人にも感染してしまうほど、感染力が非常に強いと言われています。そこで、みなさんには本校の4つの合言葉すなわち、①「マスクをすること」、②「換気をする事」、③「手指をよく洗い消毒すること」、④「密にならずソーシャルディスタンスを保つこと」を確実に、学校生活ではもちろん、家庭生活でも実行するようお願いいたします。新型コロナウイルスは私達の身の周りのすぐそばにあるのです。休み時間、部活動の休憩時間なども、この4つの合言葉を必ず意識して実行すること。このことに関しては、先生方も厳しくみなさんを指導します。それは、みなさんの命を守ること、みなさんと生活を共にするご家族の命を守るためです。また今日からしばらくの期間、分散登校となります。学校は一日おきに半分の生徒が登校することとなります。そこで、日頃から賢い飯沼中の生徒ではありますが、とても大切なことで、話しておかなければならないことですので、心して聴いてください。いま、日本は新型コロナウイルスに完全に負けてしまっています。現在、その道の専門家が必死でワクチンを増産したり、さらに良いワクチンや特効薬の研究開発に力を尽くしてくださったりしています。また、医療従事者の方々は、限界を超えるほどの厳しい環境の中で、命を懸けて医療に当たってくださいています。しかし、現状としては、皆さんを含め、日本中の誰もこの新型コロナウイルスに対して、安心して生活できる状況ではありません。今私たちにできることは、一人一人が我慢をし、気を付けて生活することだけです。学校の先生方や生徒の皆さんができること、それは人の交流を極力減らすことです。従ってこの度、分散登校を行うこととなりました。一日おきの登校になりますが、登校しない日に不要不急の外出を絶対にしないようにしなさい。友達のうちに遊びに行ったり、地域の公園で遊んだりすることのないようにしなさい。さらに家で暇だからと言って、SNSなどで自分の行動をストップすることができずに問題を起こすことのないようにしなさい。若い君たちが家の中で勉強や読書、ゲームを一人ですることは確かに苦痛でしょう。しかし、そうしなければならぬ状況なので自分ですぐ工夫してストレスの解消方法を考えて乗り越えなさい。小さな子供ではないのですから、駄々をこねたり愚痴や言い訳をしたりすることのないように努め、しっかりと考えて過ごしなさい。平和な時に、過保護でぜいたくな生活に浸り、その中で優秀な成績を残している者が、状況が変わり自分で考え判断したり、工夫や我慢が必要な状況になったりしたとたんに、より良い生活ができな

くなる者がいます。それは、まさに生きる力が身についていないということです。飯沼中をこの先巣立つ諸君には、賢い人、物事を柔軟に考えられる人、逆境に負けないしなやかさや強さを持っている人になってほしいと考えます。君達一人一人の自覚に期待します。なお、本校の先生方は、去年に引き続き、学習プリントやタブレットなど様々な手立てを考えてくださっています。まずはそれをしっかりやること。分からないことや不安なことがあれば先生方に相談してください。

みなさんの自覚ある行動が実を結び、一日も早く、安全で安心できる学校生活を送れる日が来るように祈念して式辞といたします。

令和3年8月30、31日 春日部市立飯沼中学校長